



「住みたい田舎ベストランキング」で九州1位を獲得しました!

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-25442

1月4日発行の宝島社「田舎暮らしの本」2020年2月号に掲載された「2020年版住みたい田舎ベストランキング」大きなまち(人口10万人以上)の総合部門で、本市が九州1位を獲得。全国でも10位を獲得し、注目を集めています。

●2020年版住みたい田舎ベストランキング

移住・定住の推進に積極的な市町村を対象に、移住支援策や医療、子育て、自然環境、就労支援、移住者数など230項目のアンケートを加算方式で実施。田舎暮らしの魅力や「数値化」し、ランキング形式で紹介しています。

なお、「自然豊かな所で田舎暮らしを楽しみたい」「都会の便利な暮らし



も捨て難い」といった読者ニーズに
応えるため、人口10万人未満を「小さなまち(539団体)」、人口10万人以上を「大きなまち(90団体)」の2部門に分けて順位を公表しています。

●評価の高い主な項目

【移住者受け入れ実績・歓迎度】
市長が移住・定住促進を積極的に推進。ワンストップ移住相談窓口を開設していて、専任の職員を配置。移住イベントの開催や参加など。

【交通】
高速道や高速バスの停留所、駅の有無に加え、宮崎・鹿児島両空港まで1時間以内の本市の「地の利の良さ」など。

【医療】
夜間や休日に時間外診療を行う病院や総合病院の有無のほか、医療体制の充実など。

【日常生活】

市立図書館や大型ショッピング施設、コンビニエンスストア、スポーツジムの有無のほか、農業生産体制や農業生産物の直売所の充実など。

民生委員・児童委員と主任児童委員が決まりました

◎問い合わせ 福祉課 ☎23-2980

昨年11月に任期満了を迎えた民生委員・児童委員および主任児童委員の一斉改選が行われ、新しい委員が決まりました。
新しい委員は、令和4年11月30日までの3年間の任期で活動します。

●地域の「つなぎ役」

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、社会福祉の増進を目的に活動します。また、民生委員は、児童福祉法に基づき児童委員を兼ねるため、「民生委員・児童委員」とも呼ばれます。

民生委員・児童委員は、それぞれ

が区域を受け持ち、1人暮らしの高齢者や身体の不自由な人、生活に困っている人、子育て世帯など、支援を必要とする人の相談に応じ、市や関係機関との「つなぎ役」として活動しています。悩みごとや心配ごとがあるときは、一人で悩まず、まずは、民生委員・児童委員に相談ください。

●地域の子育てに関する支援

主任児童委員は、子どもや子育てに関することを専門に活動しています。関係機関と児童委員との連絡調整を行うとともに、児童委員の活動に対する援助や協力を行います。



委員の名簿

メッセージ



一人で悩まず、まずは私たちに相談ください
都城市民生委員児童委員協議会 会長 米吉 春美さん

私たち民生委員・児童委員は、地域の実情を知る身近な相談役として、1人暮らしの高齢者や子育て世帯の困りごとを早期発見し、関係機関につなぐ役割を担っています。皆さんも、不安や困りごとがあるときは、私たちに相談ください。

また、今回の一斉改選で候補者が見つからず、欠員になっている地区があります。その地区では、さまざまな福祉活動に支障の出る恐れがあり、早急に委員を確保する必要があります。皆さんの情報提供をお願いします。

生涯にわたって、学ぶ意識を高めよう！

2月18日は「都城教育の日」

◎問い合わせ 教育総務課 ☎23-9543

市では、市民みなでより良い社会をつくるため、一人一人が学びについて考え、「学ぶこと」への理解と関心を高める原点の日として、2月18日を「都城教育の日」に制定しています。

その一つが、「学業を奨励して人材を育成することです。」「都城教育の日」は、学業の振興と人材育成の大切さを示したこの方針に由来しています。

「都城教育の日」の由来

明治5年(1872)2月18日、当時の都城県の参事(現在の知事に相当する役職)として着任した桂久武が、県を治めるに当たり3つの方針を示しました。

生涯にわたって 学びを深めることの意味

「都城教育の日」は、子どもだけの学習指針ではなく、全ての市民が生涯にわたって学びを深めることを再確認する日として、平成28年2月、市が制定しました。

メッセージ



またとない機会を「学び」に役立てましょう！

都城市教育委員会
教育長
児玉 晴男

「都城教育の日」を制定して以来、生涯にわたって「学ぶこと」の意義を考えるため、市では、「都城教育の日」記念イベントを開催しています。

今回は、オリンピック競泳種目で活躍した松田丈志さんと、松田さんのコーチを20年以上にわたって務めた久世由美子さん(現延岡市教育委員)を講師に迎え、記念講演会を開催します。コーチと選手の本音のトークから、「最後まであきらめないことの大切さ」と「学ぶことの大切さ」を確認する貴重な機会。ぜひ、来場ください。

「都城教育の日」記念イベント(無料)

都城市教育委員会では、「都城教育の日」の理念を普及・啓発するため、記念イベントを開催します。

【式典】

- 日時 2月15日(土) 13時30分～16時
- 場所 総合文化ホール
- 内容 世界的にも注目を集める本市在住の中学生ダンスユニット「RIO◆MINTO」によるパフォーマンス、スポーツ少年団表彰式、「都城教育の日」宣言

【記念講演会】

2020東京オリンピックの開幕を前に、オリンピック競泳種目のメダリスト松田丈志さんと、オリンピック競泳種目の日本代表コーチを務めた久世由美子さん2人による記念講演。「夢を夢で終わらせない競泳人生」をテーマに、熱く意見を交わします。



「都城教育の日」の4つの柱

ここで示す「教育」とは、特別な取り組みではなく、日ごろから読書やスポーツを楽しんだり、自己研さんのために講座に参加したりすることなどに加え、ふるさとの歴史や文化に目を向け学ぶことで、ふるさと「都城」に愛着を持つことです。

市では、「都城教育の日」の制定に当たり、家庭や学校、社会生活での学びや、生涯にわたって途切れることなく学ぶことを充実させていくために、次の4つの指針を定めました。

- ①常に学び、都城を担える「人材」をめざす
- ②学び合い、認め合い、助け合い、平和で豊かなまちをつくる
- ③家庭で、学校で、地域で、自分を見つめ、自分でできることを考え、行動する
- ④郷土の歴史を学び、郷土を愛し、誇りを持てる人となる努力をする

